



令和8年2月13日

各 位

住 所 兵庫県姫路市飾西38番地1
会 社 名 フジプレアム株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長松本倫長
(東証スタンダード・コード:4237)
問い合わせ先 I R ・ 広 報 部 部 長 三 村 崇 裕
電話番号 079-266-6161 (代表)

通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、令和7年5月15日付「令和7年3月期決算短信」にて発表いたしました通期連結業績予想を修正することといたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 当期の連結業績予想数値の修正（令和7年4月1日～令和8年3月31日）

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	12,022	348	354	226	7.91 円
今回修正予想 (B)	8,464	△9	4	0	0.03 円
増減額 (B - A)	△3,557	△357	△349	△225	—
増減率 (%)	△29.6	—	△98.6	△99.7	—
(ご参考) 前期実績 (令和7年3月期)	10,620	220	248	262	9.20 円

2. 修正の理由

当社グループの主力事業である精密貼合及び高機能複合材部門におきましては、車載関連、エレクトロニクス関連とともに最終需要の回復が鈍く、顧客の発注姿勢は引き続き慎重な状況が続きました。加えて、海外メーカーを含む競争環境の厳しさもあり、受注環境は改善せず、売上水準の回復には至りませんでした。また、環境住空間及びエンジニアリング部門におきましては、中国をはじめとする一部地域での経済の減速を背景に、装置販売を中心とした受注環境は低調な水準に留りました。

このような状況のもと、当社グループは生産効率の改善やコスト構造の見直し、高付加価値製品の開発等に取組むとともに、受注環境改善に向けた基盤整備を進めております。しかしながら、当初想定していた水準には至っておらず、前回予想を下回る見込みとなったことから、業績予想を修正することといたしました。

(注) 上記の業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上